

森林診断書

作成日 2011.10.8

所在地	逆谷
所有者	小林様
調査日	2011.9.17

・現状

	求め方
作業面積 ha	実測
調査面積 0.05ha	プロットの数 × プロットの面積
調査本数 36本	プロット内本数の合計
主な木 スギ	
林齢 45年	実測
上層樹高 24m	樹高合計 ÷ 実測本数
地位指数 22	樹高成長曲線図から
ha当り本数 900本	調査本数 ÷ 調査面積
1本の占有面積 11.1㎡	10000 ÷ ha当り本数
平均樹幹距離 3.3m	$\sqrt{1本の占有面積}$
平均直径 32cm	直径 × 本数の合計 ÷ 本数合計
平均上層樹高 24m	樹高 × 本数の合計 ÷ 本数合計
林分形状比	平均樹高 ÷ 平均直径 × 100
年輪幅から解る事 5年ほど前から年輪幅が狭くなっている。	

・ 誰が植えたか？

・ 植栽時の目的

・ これまでの作業履歴

・ 現在の管理方法 誰

・分析

	現状	理想	意味	求め方
ha当り本数	過密	適正 内	高さに見合った本数か	密度曲線より読み取る
枝葉率	50%	40%以上	太る見込みはあるか	(上層樹高一生枝下高) ÷ 上層樹高
混み具合 (Sr)	14	20前後	木と木の間隔は十分か	平均縦間距離 ÷ 上層樹高 × 100

・問題点

・ 木が混み始めている

・所有者の希望

- ・ あまり急激な間伐はしたくない
- ・ 林の中は常にキレイにしておきたい

・目指す山の姿

・ 良質材が生産できる林
(これまでよく手入れされている林なので)

・施業方針

今回の保残木本数	600 本/ha
今回の伐採本数	300 本/ha
伐採木	利用 or 切捨て
残す木の基準	・ なるべくまっすぐな木
伐る木の基準	・ 幹に傷や曲がりのある木 ・ 残す木の成長を妨げている木